



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社エクストリーム 上場取引所 東  
 コード番号 6033 URL <https://www.e-xtreme.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 佐藤 昌平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 由佐 秀一郎 TEL 03-6673-8535  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月28日 配当支払開始予定日 2023年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有 機関投資家向け

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	8,816	21.9	1,024	73.0	1,174	64.5	814	79.9
2022年3月期	7,231	16.1	592	△15.8	714	△4.9	452	△7.9

（注）包括利益 2023年3月期 825百万円（68.1%） 2022年3月期 491百万円（△7.3%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	148.18	147.76	21.0	19.3	11.6
2022年3月期	82.61	82.20	13.6	14.6	8.2

（参考）持分法投資損益 2023年3月期 27百万円 2022年3月期 5百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	7,118	4,825	59.4	768.47
2022年3月期	5,030	3,824	70.0	641.14

（参考）自己資本 2023年3月期 4,227百万円 2022年3月期 3,523百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,006	△855	414	2,346
2022年3月期	449	△316	△243	1,731

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00	93	20.6	2.8
2023年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	165	20.2	4.3
2024年3月期 (予想)	—	—	—	23.00	23.00		19.8	

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	13.4	900	△12.1	1,000	△14.9	640	△21.4	116.33

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 (社名) 株式会社 Dragami Games

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2023年3月期	5,502,376株	2022年3月期	5,496,776株
2023年3月期	868株	2022年3月期	800株
2023年3月期	5,496,355株	2022年3月期	5,479,032株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	6,232	9.2	767	45.1	917	36.5	688	55.5
2022年3月期	5,707	18.7	528	△28.8	672	△16.6	442	△21.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	125.21	124.85
2022年3月期	80.79	80.39

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	5,951	4,189	70.2	758.92
2022年3月期	4,622	3,616	77.8	654.57

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨ではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、経済社会活動の正常化が進む中で、持ち直しの動きが見られる一方、海外情勢等による原材料価格やエネルギー価格の上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等による下振れリスクに加え、急激な為替変動が進むなど全体としては楽観できない状況であり、先行きは依然として不透明な状況にあります。

一方、当社グループが提供する各種サービスにおいては、これらの影響を直接的に受けることはなく、技術ソリューションを提供する「デジタル人材事業」、ゲーム・各種システム開発などを請け負う「受託開発事業」、当社が保有するゲームタイトル等の使用許諾を行う「コンテンツプロパティ事業」を展開し、取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は8,816,012千円（前年同期比21.9%増）、営業利益は1,024,182千円（前年同期比73.0%増）、経常利益は1,174,844千円（前年同期比64.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は814,462千円（前年同期比79.9%増）となりました。

次に事業別状況について説明致します。

#### <デジタル人材事業>

デジタル人材事業は、主にゲーム・スマートフォンアプリ・WEB・IT企業などに対し、プログラミング・グラフィック開発スキルを持った当社社員（クリエイター&エンジニア）が直接顧客企業に常駐し、派遣契約または請負契約にて開発業務を行っております。

当連結会計年度においては、企業のDX推進などによる技術ソリューションに対する旺盛な需要を背景に、新規・既存案件とも受注が好調に推移いたしました。なお、稼働プロジェクト数は8,143（前年同期稼働プロジェクト数は7,197）となりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は5,441,127千円（前年同期比12.8%増）、セグメント利益は949,184千円（前年同期比17.0%増）となりました。

#### <受託開発事業>

受託開発事業は、主にデジタル人材事業または当社グループ各社の顧客から持ち込まれるスマートフォンアプリまたはWEB開発案件、大規模会員向けプラットフォームシステムの構築～導入～運用などの案件を持ち帰り形式にて受託し、納品するサービスを提供しております。案件種別としては、「新規開発」「保守開発」「追加開発」「ラボ型開発」の4つに大別されます。子会社の株式会社エクストラボ・EXTREME VIETNAM Co., LTD.・株式会社E P A R Kテクノロジーズ・エス・エー・エス株式会社・酒田エス・エー・エス株式会社については当該事業に含まれます。なお、エス・エー・エス株式会社及び酒田エス・エー・エス株式会社については、当連結会計年度 第3四半期より本セグメントに加わっております。

当連結会計年度においては、親会社及び子会社（株式会社エクストラボ・株式会社E P A R Kテクノロジーズ）における受注が順調に推移したこと、株式会社エクストラボからEXTREME VIETNAM Co., LTD.への発注が増加したこと、EXTREME VIETNAM Co., Ltd.の開発要員稼働率が順調に回復したことにより、黒字転換いたしました。また、エス・エー・エス株式会社及び酒田エス・エー・エス株式会社についても、一定の売上高に貢献いたしました。

この結果、当連結会計年度における売上高は3,277,118千円（前年同期比27.7%増）、セグメント利益は385,893千円（前連結会計年度はセグメント損失52,519千円）となりました。

#### <コンテンツプロパティ事業>

コンテンツプロパティ事業は、当社グループが保有するゲーム・キャラクター等の知的財産を活用し、様々な事業展開を行うセグメントであり、具体的には、ゲーム開発・販売・運営のほかに、当社グループが保有するゲームタイトルまたはキャラクターなどを様々な商材へ使用許諾を行うライセンス事業が含まれております。

子会社の株式会社D r a g a m i G a m e sについては当該事業に含まれます。

当連結会計年度においては、当社がライセンス許諾したスマートフォン版ゲームアプリ『ラングリッサー』の運営により、ライセンス許諾先である香港紫龍互娛有限公司及び上海紫舜信息技术有限公司を通じてゲーム販売額に応じたロイヤルティ収益が発生いたしました。また、2022年6月に子会社化した株式会社D r a g a m i G a m e sのゲーム販売等の収益が加わりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は513,725千円（前年同期比4.4%増）、セグメント利益は363,451千円（前年同期比17.3%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (総資産)

当連結会計年度末における総資産は、7,118,893千円となり、前連結会計年度比2,088,177千円の増加（前連結会計年度比41.5%増）となりました。これは主に、有価証券が43,387千円、投資有価証券が148,554千円がそれぞれ減少した一方、現金及び預金が1,536,609千円、仕掛品が253,403千円及び、のれんが218,695千円それぞれ増加したことによるものです。

## (負債)

当連結会計年度末における負債は、2,293,432千円となり、前連結会計年度比1,086,744千円の増加（前連結会計年度比90.1%増）となりました。これは主に、長期借入金が28,560千円減少した一方、短期借入金が550,000千円、未払金が233,990千円及び未払法人税等が209,315千円それぞれ増加したことによるものです。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産は、4,825,461千円となり、前連結会計年度比1,001,433千円の増加（前連結会計年度比26.2%増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により、利益剰余金が721,030千円増加したことによるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度末と比べ615,394千円増加し、2,346,793千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,006,897千円（前連結会計年度は449,690千円の収入）となりました。これは、主に売上債権145,022千円の増加、法人税等の支払額179,122千円などがあったものの、未払金の増加197,677千円、税金等調整前当期純利益1,185,862千円などにより資金獲得したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は855,018千円（前連結会計年度は316,787千円の支出）となりました。これは、主に保険積立金の解約による収入219,721千円などがあったものの、定期預金の預入による支出896,202千円及び事業譲受による支出183,050千円などにより資金使用したことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は414,931千円（前連結会計年度は243,570千円の支出）となりました。これは、主に配当金の支払額93,269千円などがあったものの、短期借入金の増加額550,000千円などにより資金獲得したことによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	70.0	59.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	107.4	102.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	43.4	73.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	282.5	437.7

(注) 自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

3. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

4. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用

しております。

5. 利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

引き続き「まじめに面白いを創る会社。未来の楽しいを造る会社。」を企業コンセプトに、「クリエイター&エンジニアのプロダクションカンパニー」を標榜し、「デジタル人材事業」「受託開発事業」「コンテンツプロパティ事業」を有機的に結び付けることで、経営基盤の安定化を確保しながら、高い成長性を実現すべく、スピード・クオリティ・チャレンジの行動指針を常に実行しながら事業展開を図ってまいります。

具体的な今後の見通しについては以下のとおりであります。

##### (売上高)

デジタル人材事業については、部門毎の前期末稼働プロジェクト数をベースに、当期採用予定数及び離職率予想などを勘案して算出し、合理的な積み上げ予測に基づいて推定される収益を予想値としております。

受託開発事業については、前期における受注実績をベースに、新規・保守案件に大別し、新規案件は期末時点での受注済み案件及び受注確度が高い案件の積み上げにより、予想値を算出しております。保守案件については、前期末時点において継続中の案件及び1契約当たりの契約金額を抽出し、その積み上げによって予想値を算出しております。

コンテンツプロパティ事業につきましては、前期におけるライセンス許諾ロイヤルティ実績及びライセンシーの独自予測及びゲームソフト販売実績等を参考に算出した数値を予想値としております。

以上の取り組みにより、売上高は10,000百万円（前年同期比13.4%増）を見込んでおります。

##### (営業利益)

営業利益につきましては、売上原価、販売費及び一般管理費を踏まえて算出した金額を予想値としております。

デジタル人材事業及び受託開発事業における売上原価につきましては、1プロジェクト当たりの受注金額に対する労務費割合を主要な原価として見積もり算出しております。コンテンツプロパティ事業における売上原価につきましては、過去実績値を元に、プロジェクトに係る労務費、外注加工費、支払手数料、通信費等を算定しております。

デジタル人材事業及び受託開発事業における販売費及び一般管理費につきましては、営業社員の労務費、テレビCMなどの宣伝費、年間採用計画に基づいた採用媒体への広告費及び人材紹介会社への人材紹介手数料などを勘案し、算出しております。

コンテンツプロパティ事業における販売費及び一般管理費につきましては、過去実績値を元に広告宣伝費、決済手数料、プラットフォーム手数料等をベースに予想値を算出しております。減価償却費については、ソフトウェアの開発計画、固定資産の取得予定等、設備投資計画に基づき発生する費用を見積もり、予想値を算出しております。

以上の取り組みにより、営業利益は900百万円（前年同期比12.1%減）を見込んでおります。

##### (経常利益)

経常利益につきましては、当期に発生が見込まれる営業外収益及び営業外費用を勘案し、予想値を算出しております。営業外収益については、投資有価証券等による有価証券利息の発生を見込んでおります。営業外費用については、借入金による支払利息の発生を見込んでおります。

以上の取り組みにより、経常利益は1,000百万円（前年同期比14.9%減）を見込んでおります。

##### (親会社株主に帰属する当期純利益)

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、予想値を算定する上で発生が見込まれる特別損益及び税金等調整前当期純利益の予想値に基づき算出した法人税、住民税及び事業税を勘案して算出した金額を予想値としており、640百万円（前年同期比21.4%減）を見込んでおります。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識するとともに、将来の事業展開と経営体質強化のために、内部留保を確保しつつ、財政状態及び業績動向等、経営状態を総合的に判断して利益配当を行っていく方針であります。

具体的には、年1回の期末配当とし、親会社株主に帰属する当期純利益の20%を配当性向の目安として、業績に応じた配当を実施してまいります。

上記の方針に基づき当期の剰余金の配当は、1株当たり普通配当30円としております。次期の配当につきましては、次期の連結業績予想を勘案し、1株当たり普通配当23円としております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本国内で事業展開していること、及び同業他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえ、当面は日本基準を採用することとしております。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応してまいります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,670,802	3,207,411
売掛金	1,189,022	1,366,665
有価証券	49,960	6,573
製品	—	2,136
仕掛品	4,280	257,684
前払費用	75,004	106,808
その他	70,596	65,404
貸倒引当金	—	△920
流動資産合計	3,059,667	5,011,765
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	60,762	100,829
減価償却累計額	△29,090	△44,839
建物及び構築物(純額)	31,672	55,990
車両運搬具及び工具器具備品	127,213	157,350
減価償却累計額	△111,926	△137,723
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	15,286	19,627
有形固定資産合計	46,958	75,617
無形固定資産		
ソフトウェア	85,622	55,640
ソフトウェア仮勘定	6,159	—
のれん	—	218,695
無形固定資産合計	91,781	274,336
投資その他の資産		
投資有価証券	1,435,655	1,287,101
関係会社株式	135,486	163,349
長期前払費用	23,400	53,786
繰延税金資産	91,174	88,086
破産更生債権等	7,367	7,367
その他	146,590	164,850
貸倒引当金	△7,367	△7,367
投資その他の資産合計	1,832,307	1,757,173
固定資産合計	1,971,048	2,107,128
資産合計	5,030,716	7,118,893

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	100,000	650,000
1年内償還予定の社債	—	10,000
1年内返済予定の長期借入金	28,560	28,560
未払金	634,587	868,577
未払費用	105,490	102,796
未払法人税等	62,933	272,248
未払消費税等	63,553	125,375
賞与引当金	126,574	134,250
その他	18,268	25,831
流動負債合計	1,139,967	2,217,638
固定負債		
社債	—	15,000
長期借入金	66,720	38,160
退職給付に係る負債	—	6,813
繰延税金負債	—	15,819
固定負債合計	66,720	75,793
負債合計	1,206,687	2,293,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	419,031	419,451
資本剰余金	412,838	413,258
利益剰余金	2,672,065	3,393,096
自己株式	△1,082	△1,159
株主資本合計	3,502,853	4,224,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,441	△12,350
為替換算調整勘定	15,392	15,424
その他の包括利益累計額合計	20,834	3,074
新株予約権	19,007	14,669
非支配株主持分	281,332	583,070
純資産合計	3,824,028	4,825,461
負債純資産合計	5,030,716	7,118,893

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	7,231,671	8,816,012
売上原価	5,353,308	6,311,180
売上総利益	1,878,363	2,504,832
販売費及び一般管理費	1,286,267	1,480,649
営業利益	592,095	1,024,182
営業外収益		
受取利息	3,995	12,879
有価証券利息	44,480	62,598
為替差益	53,988	44,414
助成金収入	330	1,960
投資有価証券売却益	12,681	1,455
投資有価証券評価益	1,258	—
持分法による投資利益	5,486	27,862
受益権売却益	—	3,391
その他	5,429	5,920
営業外収益合計	127,651	160,482
営業外費用		
支払利息	1,666	1,943
社債利息	2	41
支払手数料	1,496	3,756
投資有価証券売却損	—	58
受益権売却損	239	—
消費税差額	2,239	770
その他	13	3,251
営業外費用合計	5,658	9,821
経常利益	714,087	1,174,844
特別利益		
新株予約権戻入益	—	14,669
特別利益合計	—	14,669
特別損失		
減損損失	60,657	—
固定資産除却損	—	3,651
特別損失合計	60,657	3,651
税金等調整前当期純利益	653,430	1,185,862
法人税、住民税及び事業税	194,845	301,652
法人税等調整額	△12,054	40,705
法人税等合計	182,791	342,358
当期純利益	470,639	843,504
非支配株主に帰属する当期純利益	18,003	29,042
親会社株主に帰属する当期純利益	452,636	814,462

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	470,639	843,504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,457	△17,792
為替換算調整勘定	11,082	31
その他の包括利益合計	20,539	△17,760
包括利益	491,179	825,744
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	473,175	796,702
非支配株主に係る包括利益	18,003	29,042

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	416,031	409,838	2,317,638	△951	3,142,557
当期変動額					
新株の発行	3,000	3,000			6,000
剰余金の配当			△98,209		△98,209
親会社株主に帰属する 当期純利益			452,636		452,636
自己株式の取得				△130	△130
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	3,000	3,000	354,426	△130	360,296
当期末残高	419,031	412,838	2,672,065	△1,082	3,502,853

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	△4,015	4,310	294	7,152	266,111	3,416,116
当期変動額						
新株の発行						6,000
剰余金の配当						△98,209
親会社株主に帰属する 当期純利益						452,636
自己株式の取得						△130
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	9,457	11,082	20,539	11,855	15,221	47,616
当期変動額合計	9,457	11,082	20,539	11,855	15,221	407,912
当期末残高	5,441	15,392	20,834	19,007	281,332	3,824,028

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	419,031	412,838	2,672,065	△1,082	3,502,853
当期変動額					
新株の発行	420	420			840
剰余金の配当			△93,431		△93,431
親会社株主に帰属する 当期純利益			814,462		814,462
自己株式の取得				△77	△77
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	420	420	721,030	△77	721,793
当期末残高	419,451	413,258	3,393,096	△1,159	4,224,647

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	5,441	15,392	20,834	19,007	281,332	3,824,028
当期変動額						
新株の発行						840
剰余金の配当						△93,431
親会社株主に帰属する 当期純利益						814,462
自己株式の取得						△77
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△17,792	31	△17,760	△4,338	301,737	279,639
当期変動額合計	△17,792	31	△17,760	△4,338	301,737	1,001,433
当期末残高	△12,350	15,424	3,074	14,669	583,070	4,825,461

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	653,430	1,185,862
減価償却費	49,748	61,021
のれん償却額	15,289	13,841
減損損失	60,657	—
固定資産除却損	—	3,651
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,575	△1,870
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,694	△613
新株予約権戻入益	—	△14,669
受取利息	△3,995	△12,879
有価証券利息	△44,480	△62,598
支払利息	1,669	1,984
為替差損益(△は益)	△39,267	△16,670
投資有価証券売却損益(△は益)	△12,681	△1,397
投資有価証券評価損益(△は益)	△1,258	—
持分法による投資損益(△は益)	△5,486	△27,862
売上債権の増減額(△は増加)	△149,407	△145,022
棚卸資産の増減額(△は増加)	59,575	△88,763
長期未収入金の増減額(△は増加)	10,407	3,971
未払金の増減額(△は減少)	113,525	197,677
未払消費税等の増減額(△は減少)	△17,118	52,700
その他	5,527	△24,838
小計	699,017	1,123,525
利息の受取額	42,708	64,795
利息の支払額	△1,591	△2,300
法人税等の支払額	△290,443	△179,122
営業活動によるキャッシュ・フロー	449,690	1,006,897
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△896,202
保険積立金の解約による収入	—	219,721
有形固定資産の取得による支出	△10,261	△17,315
無形固定資産の取得による支出	△39,376	△4,929
投資有価証券の取得による支出	△444,105	—
投資有価証券の売却による収入	310,032	123,680
関係会社株式の取得による支出	△130,000	—
差入保証金の差入による支出	△3,075	△17,438
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	20,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△99,483
事業譲受による支出	—	△183,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	△316,787	△855,018
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	550,000
長期借入金の返済による支出	△30,560	△28,560
社債の償還による支出	△18,000	△5,000
自己株式の取得による支出	△130	△77
株式の発行による収入	6,000	840
配当金の支払額	△98,097	△93,269
非支配株主への配当金の支払額	△2,782	△9,001
財務活動によるキャッシュ・フロー	△243,570	414,931
現金及び現金同等物に係る換算差額	45,718	48,583
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△64,949	615,394
現金及び現金同等物の期首残高	1,796,348	1,731,399
現金及び現金同等物の期末残高	1,731,399	2,346,793

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、経営陣が経営資源の配分、投資計画の決定及び経営成績の評価をするために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社では、「デジタル人材事業」、「受託開発事業」及び「コンテンツプロパティ事業」の3つを報告セグメントとしております。

「デジタル人材事業」は、労働者派遣及び業務請負契約による技術サービスを提供しております。「受託開発事業」は、主にデジタル人材事業を通じて顧客から持ち込まれるスマートフォンアプリ開発案件、クラウドプラットフォーム構築、CRM (Customer Relationship Management)構築～導入～運用など、案件を持ち帰り形式にて受託し、納品するサービスを提供しております。「コンテンツプロパティ事業」は、主にライセンスサービスを提供しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	デジタル人材 事業	受託開発事業	コンテンツプ ロパティ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,187,047	2,552,703	491,919	7,231,671	—	7,231,671
セグメント間の内部 売上高又は振替高	635,565	13,292	—	648,857	△648,857	—
計	4,822,613	2,565,995	491,919	7,880,529	△648,857	7,231,671
セグメント利益又は損失 (△)	811,152	△52,519	439,517	1,198,150	△606,055	592,095
セグメント資産	540,164	745,969	156,803	1,442,937	3,587,779	5,030,716
その他の項目						
減価償却費	1,054	17,491	916	19,461	30,287	49,748
のれんの償却額	—	15,289	—	15,289	—	15,289
持分法投資利益	—	—	5,486	5,486	—	5,486
減損損失	—	60,657	—	60,657	—	60,657
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	452	10,808	3,665	14,926	34,711	49,638

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。
- セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない当社グループでの現金及び預金、投資有価証券及び管理部門に係る資産であります。
- 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
- 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産に係る有形固定資産及び無形固定資産の増加であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	デジタル人材 事業	受託開発事業	コンテンツブ ロパティ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,027,233	3,275,053	513,725	8,816,012	—	8,816,012
セグメント間の内部 売上高又は振替高	413,893	2,065	—	415,958	△415,958	—
計	5,441,127	3,277,118	513,725	9,231,970	△415,958	8,816,012
セグメント利益	949,184	385,893	363,451	1,698,528	△674,346	1,024,182
セグメント資産	630,674	1,152,911	421,640	2,205,226	4,913,667	7,118,893
その他の項目						
減価償却費	2,986	23,477	4,807	31,271	29,750	61,021
のれんの償却額	—	13,841	—	13,841	—	13,841
持分法投資利益	—	—	27,862	27,862	—	27,862
固定資産除却損	—	3,651	—	3,651	—	3,651
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	1,052	12,577	3,701	17,331	4,913	22,244

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。
- (2) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない当社グループでの現金及び預金、投資有価証券及び管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産に係る有形固定資産及び無形固定資産の増加であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「デジタル人材事業」に含めていた費用の一部を管理部門に係る一般管理費として、「調整額」に含めております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報につきましても、変更後の方法により作成しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	641.14円	768.47円
1株当たり当期純利益	82.61円	148.18円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	82.20円	147.76円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	452,636	814,462
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	452,636	814,462
普通株式の期中平均株式数(株)	5,479,032	5,496,355
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	27,289	15,778
(うち新株予約権(株))	(27,289)	(15,778)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,824,028	4,825,461
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	300,340	597,740
(うち新株予約権(千円))	(19,007)	(14,669)
(うち非支配株主持分(千円))	(281,332)	(583,070)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,523,687	4,227,721
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	5,495,976	5,501,508

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。